

■安積中学校■安積高等学校在京同窓生

東京桑野会会報

●昭和62年10月1日発行●発行・編集人 澤田 悌●発行所 東京桑野会事務局 〒101 東京都千代田区神田錦町2-5 KSビル3F



9



佐藤静司画

ご挨拶

東京桑野会会長 澤田 悌



東京桑野会の会報も第9号を皆さんにお届けすることになりました。ついては一言ご挨拶を申し上げます。

去る4月17日に東京桑野会は昭和62年度総会を開催いたしました。会場の椿山荘には、多数の会員がお元気にご出席下され、又郡山の桑野会からは滝田会長、母校安積高校からは松田校長先生外の方々が、遠路ご参会下さいまして、誠に有難うございました。

総会は型の如く決算、予算の承認や役員改選等の議事を済した後、恒例の懇親会が盛大に行われ、参会者が歡を尽し旧交を暖め嬉しく時間のたつのを忘れた総会でした。

あの総会のご挨拶の中でも申したことですが、何と言ってもお互いに多感な青春前期の数年間を、あの桑野の学舎で過し開成山の風物を楽しんだという共通の体験は、何年たっても忘れられない、懐しい

思い出であります。東京桑野会はそうした共感をもつ人々によって成り立っている同窓会です。総会当日御出席の皆さんのお年を見ても、90歳以上の方から20歳の方迄実に70年の幅をもった誠に嬉しい同窓の集まりでした。

なお、本年は2年目毎の役員改選の時期で、本誌別掲の通りの役員陣が総会で決定し、不肖私があ会長をおおせつかりました。役員の方にはご苦勞様ですが、どうぞよろしく願いいたします。特に会の基礎固めを一層推進するため、各卒業年次からそれぞれ幹事さんをお願いいたしました。各年次毎の懇談、連絡の中心となり又多くの会員の総会出席の原動力ともなって下さるようお願いする次第です。

それでは、会員の皆さんの一層のご健勝をお祈りしてご挨拶といたします。

総会報告

昭和62年4月17日椿山荘において昭和62年度東京桑野会総会が行なわれた。

矢吹副会長の開会の辞、全員での校歌斉唱、澤田会長の挨拶の後、43期の鎌田氏が議長に選出され以下の件について会議が行なわれた。1、会務報告 2、昭和61年度決算承認 3、昭和62年度収支予算案承認 4、役員改選

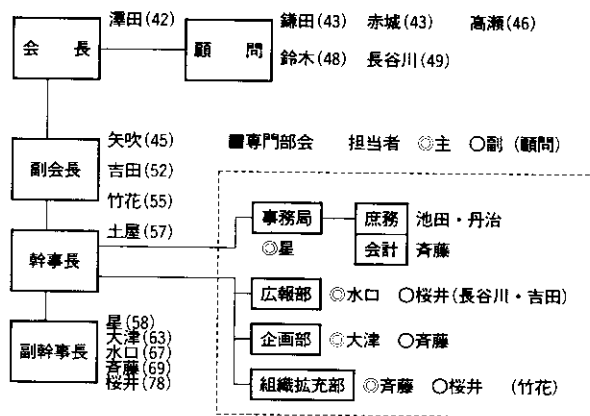
この結果会長には澤田現会長が再選され、他の役員については右図のごとく会長から委嘱され、会の活性化の為内部組織も若干改変された。(P16役員名簿参照)

総会の後、引き続き昭和62年度懇親会が200余名の参加をもって盛大にとり行なわれた。松田安積高校新校長、滝田桑野会会長など来賓の挨拶、25期の後藤憲平氏の乾杯、戦後世代の応援歌の轟き、青山八郎氏作曲の55期の同期会歌の披露、遙かオマーンから古川大使(63期)からのメッセージの披露など大いに盛り上がりリフレッシュのひとつときを楽しんだ。

実務面での会の中心である幹事長が竹花則栄氏から土屋七郎氏へバトンタッチ。竹花氏は副会長に選出された。椿山荘をいつも使わせていただくなど、竹花氏には長年にわたり大変お世話になりました。今後とも後輩の指導をよろしく願います。新幹事長の“手腕”に乞う御期待！

東京桑野会・昭和62年度組織表

昭和62年4月



母校からの便り

伝統校——
そして進学校といわれる安積高校

ことしは、安中・安高と数えて103年、この春、第100期生が卒業し、現在在校しているのは、101、102、103期生である。この100期生は、2つの記録をつくった。1つは、国公立大学の入試改革を克服して、合格数318、も

う1つは、3年間皆勤者154名といういずれも学校新記録であった。

創立100周年を機に生まれた第二体育館、改装なった桑野寮の7、8月の利用は超満員である。この活動の中から、ことしは、北海道インターハイへ剣道部、軟式庭球部、卓球個人が出場する。バレーボール、サッカー、バドミントン、卓球など、ベストエイト以上の活躍だが、全国大会へは一步及ば

なかった。

すでに発表会を終わった演劇、夏休み中に定期演奏会を開く吹奏楽、男性合唱は、秋のコンクールに上位入賞することだろう。

ところで、夏の甲子園をめざす熱闘は、7月21日にはじまった。安積は、22日、双葉高校を5対2で破った。つづくは、磐城、学法石川である。23日の朝日朝刊には、——パンカラ応援

渉外担当支配人
竹花則栄(55期卒)

CHINZAN SO
椿山荘
東京都文京区関口2 10-8
☎03(943)1111
G 藤田観光

■大小23のご披露宴会場。
■800名様までの日本料理・フランス料理着席ご披露宴。
■庭園での記念写真も随時お撮りいただけます。
■チャペルでの挙式もできます。
■最新機能の音響・照明設備。

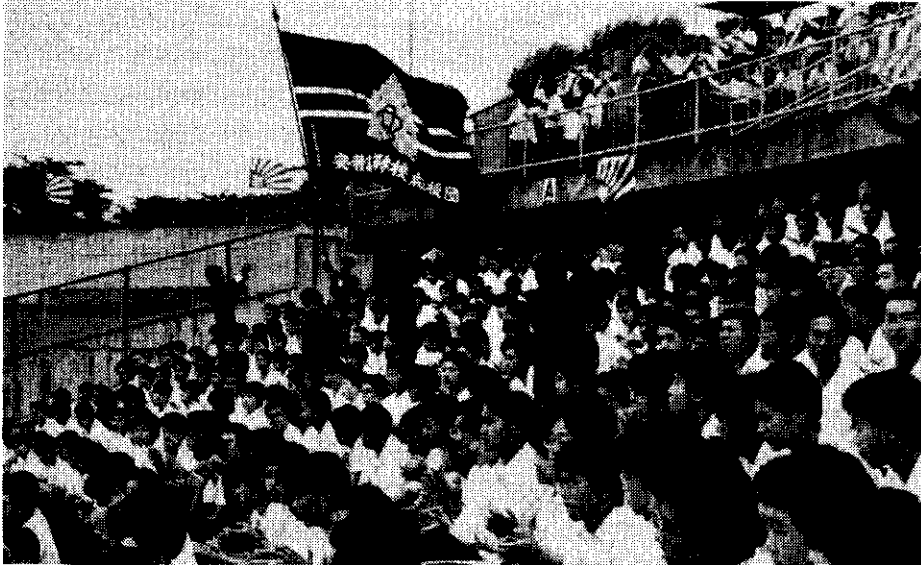
華やかな「宴」のとき。

只今、ご播礼・ご宴会ご予約承り中。

団、一塁側の安積応援席は、初戦にもかかわらず、800人もの生徒が詰めかけ超満員——と写真入り、伝統校健在である。(1987.7.23 記 仲村哲郎 校内幹事写真・66期卒)

高校野球の結果はつぎのとおりでした。4回戦まで進出しましたが、惜しくも強豪学法石川に敗退しました。

| | | |
|-----|---------|------|
| 2回戦 | 安積-双葉 | 5-2 |
| 3回戦 | 安積-磐城 | 10-1 |
| 4回戦 | 安積-学法石川 | 2-4 |



朝日新聞福島支局提供

会員動向

- 荒井広幸氏(90期)は去る4月の統一地方選挙で福島県議会議員に、最年少且つ田村郡でトップ当選された。
- 三本木健治氏(69期)は建設省住宅局住宅・都市整備公団監理官から同省河川局次長に栄転された(7月1日付)。
- 遠藤実氏(64期)は在ジュネーブ国際機関日本政府代表部特命全権公使から外務省国際連合局長に栄転された(8月17日付)。

〈訃報〉

星武夫氏(49期、前東京桑野会副会長、日松商事社長、現事務局長星兄)昭和62年7月24日逝去された。通夜およ

び告別式は7月26日、27日新宿区大宗寺に於て行なわれ、生前の人格を偲ばせる盛大なものでした。本会からも会長、幹事長、役員など多数が参列しました。

横尾正七郎氏(47期東京桑野会幹事、東京索道株式会社社長)昭和62年8月21日逝去された。9月11日新宿区大宗寺に於て社葬が行われた。本会からも会長、幹事長、役員など多数が参列し盛大でした。

亡くなられる直前には青森・恐山に奥様と旅行され、また、会報第8号にも「古稀を迎えて」と題され「気分だけでも若い者には負けない」と書いておられました。その矢先の突然の訃報でした。

岩手支部からの便り

開校百周年を機に、との呼びかけに応じて昨年4月13日、今泉亀撤氏(38期)を中心に『安積桑野会岩手支部』の設立総会を開き、支部を結成することができました。県内会員の所在確認や発起人会発会準備等、今泉会長には大変ご苦勞いただきましたが、総会当日には滝田元二会長(本部)はじめ、学校長、校内幹事長、諸先生が遠路はるばる駆けつけて下さいました。母校の様子や他支部の活躍をうかがい、会員一同おおいに心強く、嬉しく、心より感謝しております。

本年度も4月29日、花吹雪舞う中で盛大に開くことができました。

現在、会員は58名。うち学生が17名を数え、母校の隆盛と安積桑野会発展のために努力する所存であります。

幹事長 伊東 祐一(69期)

※ ※ ※

今泉亀撤会長は日本で初めて角膜移植を成功させた眼科医。今もわが国の第一人者です。この夏もグリーンランドへ、野菜を食べないイヌイット(エスキモー)の食生活を調査するために行かれました。

支部結成に尽力された一人、相楽俊一さん(69期)は元東京桑野会会員。現在は読売新聞前橋支局長として、群馬県前橋市におられます。桑野会の群馬支部結成へ、お忙しい中奔走されていらっしゃるとうかがいました。

3月の入学試験では会員が『ガンバレ安高』のプラカードを掲げて大学正門で激励。宿の世話もお任せ、の温ったかーな岩手の仲間たちです。

- 掛け金が貯蓄にもなる
積立保険 長期総合保険
- 安心と貯蓄の5年プラン
積立ファミリー交通傷害保険
- 6つの保険を1つにセット
自家用自動車総合保険
- 住いと暮らしの
安心パック
住宅総合保険+家族傷害保険

まさか!のために

興亜火災

相談役 **赤城海助**(第43期)

本社 〒100 東京都千代田区霞が関3-7-3
☎(03)593-3111(大代表)

水口 本日はお忙しいところをありがとうございます。後藤大先輩と今年卒業した土門さんとは75年の違いがあります。しかも、私を含め5人は、それぞれの先輩が卒業してから生まれているんですね。安積の伝統を考えると感慨深いものがあります。本日はそれぞれの安積について、お話いただきたいと思えます

吉田 安積の良さ、有難さですね

水口 後藤大先輩の卒業した大正2年というのは、第1回全国中学野球の2年前になる。大変な歴史です。

後藤 野球といいや、第1回大会で活躍した和歌山中の校長が野村浩一先生。ボクらのときの校長です。ところが校長排斥が続いて、それで安積から和歌山へ行ったんです。排斥するんじゃないかな

吉田 野村先生がいれば、安積も甲子園へ行けたかもしれない(笑)

◆わらじでマラソン

後藤 スポーツの好きな校長でマラソンを始めた方なんです

桜井 桑野の周辺を走るんですか

後藤 いや、須賀川小学校まで。午前中遠足で行って、昼食食べたら帰りは走って安積までです。わらじはいて、脚絆つけて走ったんです

水口 ランニングのスタイルは？

後藤 小倉の制服でね。1着2円です。その格好のまま、背中に風呂敷かついでマラソンですよ

吉田 私のころは安積から麓山公園通って町へ出て、安女の前から開成山へ。大分距離も短いですが

桜井 安女前を通るとは軟弱な(笑)

水口 私のときはマラソンなかったな

土門 今はやってます。12キロのロードレースを全員参加です

水口 制服の話が出ましたけど

吉田 私らのときから小倉の制服なしになって。私昭和10年入学で布地も国防色に統一されてましたね

水口 厳しかったんでしょうね

吉田 軍隊と同じ。教官には軍隊式に敬礼です。後藤さんの頃みたいに生徒が校長を排斥するなんてとても考えられなかったですよ

後藤 ボクらのときは大正デモクラシーの前後ですからね。自由だったが先輩後輩の関係は大変なものでしたよ。お辞儀しなかったりしたらもうすぐこれ(ゲンコツ)ですよ

水口 私らには想像できない

桜井 ところで皆さんの頃、はきものは。私たちのときが下駄が許された最後でした。生徒会が強引に下駄禁止の校則をつぶしたんです

土門 革靴です。下駄復活をもくろんだんですけど、ダメでした

吉田 革かゴムの編みあげ靴。応援団長だけは下駄が許されていました

後藤 ボクらも編みあげ靴でした。でも1足2円でしたか。破けてもすぐ買えやしなから、足にまっ

黒く墨塗ったりしたもんです

土門 ところで、今1年に入ると対面式って行って上級生が待ってる体育館で1クラスずつあいさつさせられるんです。野次がすごくて緊張するってないです。皆さんのころにもあったんでしょうか

吉田 剣道場に1年生全員集めてね。グルッと5年生が取り囲んで。竹刀持ってますよ。暗くなるまで説教する。「稚気を去れ!」ってね

後藤 私らとのきは5年生じゃなく3年生が科学の教室でやった。暗幕降ろして、1年生全員が殴られる。にらまれた奴は五百淵へ連れてかれて水の中へたたき込む

吉田 私の頃は「蛮風をやめよう」ってひどいことはされなかった。大人としての自覚を持つための通過儀式でもあったんでしょうね

水口 戦後間もない私らは正誤にも柔剣道なしという時代でしたから助かりました(笑)

◆稚気されば色気？

桜井 吉田先輩が「稚気を去れ」とおっしゃいましたが、稚気を去れば当然、色気が出てくるのでは？

後藤 4年の時安積実科女学校(今の安女)ができてましたね。後輩に「あそこは通るな!」ってね

吉田 安女の近くに友人、もちろん男の友人がいてね。そいつのどこへ行ったら翌日、先輩に呼びつけられた。その頃安女の前を通ると殴

安全日本一をめざして33年

石打丸山スキー場

株式会社 日本リフトサービス

取締役会長 後藤憲平(25期)

スキー場東京案内所
03-256-8170

東京事務所：〒101 東京都千代田区神田小川町1-8 Tel.03-256-8151
石打事務所：〒949-63 新潟県南魚沼郡塩沢町石打 Tel.0257-83-2222

られたんです

水口 最近はどう？

土門 わざわざ安女前を通って帰るやつもいる。私は違いますけど(笑)

水口 私のいた頃、設備がないとかを理由に女生徒の入学を断ったって聞きましたけど。残念——(笑)

桜井 夏休みの課外補習には女生徒が来てましたね。うれしくてまじめに受けたものでした

◆自称一番ウヨウヨ

水口 補習といえば、今年も受験で厳しくなった面があると思いますが

吉田 私の頃は結構大変でしたよ。席は後ろから順に成績順で並ぶ。だから座る席で何番かわかる

後藤 ボクらのときは背の順でしたな
水口 私らのときは成績の張り出しもなかった。民主主義の時代ですから。自称1番がウヨウヨしてた。

吉田 しかし、成績良いからどうの、悪いからバカにされるなんてことは全くなかった。むしろ教壇近くの生徒の方が威張ってました

水口 成績にこだわらなかつたんでしょね、今みたいには

桜井 話は変わりますが、会報の6号に後藤大先輩は5里を歩いて通ったと書かれてましたが

後藤 高等科は金透小。そのときから毎土曜日、下宿から休石の家まで歩いて帰りました。日曜の午後にもまた歩いて下宿へ戻ってくるんです

土門 ボクは自転車で片道30分でした

吉田 我々の頃はバス・自転車の通学は禁止でした。歩くんです。ところが



◇写真説明

75年の『とき』をこえてガッチリ握手。後藤大先輩を囲んで、右から吉田さん、土門さん、水口さん、桜井さん

冬は西風ね、磐梯おろしですか、あたりには何も無いから風で息もできない。そこを大きなランドセル背負って通ったんです

水口 スクールバスが駅から走ったんですよ、私らのときは。正門の中まで入ってくれるんですけど、先輩にバスなんか軟弱だって言われてね。なかなか楽はできない

◆始業合図はラッパ

吉田 そういえば、朝の始業はラッパでね。村上さんという方が吹いて

後藤 村上さんといったかどうか、ボクのころも始業終業、ラッパです

水口 私のころは用務員さんが時計みて鐘を手で振る。ガラランガランと

桜井 ボクたちはオルゴール

土門 いまはジリジリってベルです

水口 始業は8時50分。安積が遠かったからでしょうね。よそより少し遅かったですね。

吉田 郡山着の列車はそれに間にあうようになってね。いくらダイヤ改正になっても、朝の到着時刻というのはずっと変らなかった

水口 生徒数は大分違ったのでしょうか

後藤 1学年4クラスで150人位かな

吉田 50人クラスが4つ、200人です
土門 理科科を入れて10クラス500人

桜井 7クラスでしたな

◆三食付で6円

水口 月謝は？私らは500円でした

吉田 私のときは4円。これに4年ときの関西修学旅行積立が50銭

桜井 ボクらはいくらだったかなあ

土門 ボクは月5000円

後藤 半期で1円50銭でしたかね。それと、ボクは本館の南側に5棟あった平屋の寄宿舎にいましたからそっちが三食付で月6円

水口 お話うかがってますと、やはり75年ですね。安積も随分変わった。でも安積魂は後藤先輩も19歳の土門さんも変わらず胸に抱いている。そんな気がします。これからもこの伝統を受け継いでがんばっていききたいと思います

※ ※ ※

*後藤さんは日本リフトサービス会長
吉田さんは五十嵐冷蔵専務、水口さんは帝人殖産部長、桜井さんは桜井淳計画工房代表、土門さんは早大・文1年



FROZEN
FOOD

五十嵐冷蔵株式会社

(冷蔵・冷凍食品・低温運輸の総合エンタープライズ)

〒108 東京都港区芝浦2-10-5

TEL 03(451)1111(大代表)

テレックス242-4442

東京桑野会会員 専務取締役 吉田弘俊(第52期)

我が家の動物記

48~49期 中村亮八郎

かなり伸び過ぎたカエデの木に梯子をかけて剪定していた庭師のオッサンが、何やら茶色の塊を片手に掴んで降って来た。野鳥の雛のようで、大きい嘴を思いきり拡げてピイピイ叫んでいる。気が付くと、双親らしいヒヨドリが庭中を翔び回っている。巣に戻したらといったが、こうなっては飼うしかない、オッサンは強硬である。仕方なしに、むかし子供等が飼っていた十姉妹の巣箱に収容することにした。今から3年前、定年退官した年の6月だった。

小鳥やの粉餌を水で練り、割り箸の先にのせて差し出すとよく食べて、まあ順調に育った。最初はオッサンのいう通りパンを千切って牛乳に浸したものをやったが、どうしても下痢勝ちになる。考えて見たら鳥類は先天のクターゼ欠損症なのだから、消化不良は当然で、まさしくこちらの迂闊であった。はじめての経験でまごつくこともあったが、我が家は夫婦2人だけで誰に気兼ねも要らないので、部屋中を勝手に飛ばしておいた。そのうち小鳥やのオヤジが拾い物の雛を持ってけというので結局2羽を飼う羽目になった。家付きの方はオスで、新入りはメスと判明したから、旨くやれば繁殖できそうだと当座は張り切ったこともあった。

よく人に馴れ、お客があると肩に止まったままで迎えるし、食事の時は

テーブルの上の小鉢の縁で、好物の御飯粒を催促した。唇の間に嘴を突込んで唾液を吸うのが大好きで、これはもっぱら家内が相手をした。ただし何をするにもオスが先で、メスはいつもためらいながら追従するという風に見えた。「お孫さん代りですね」などと冷かされたが、当時は裁判所から依頼された鑑定の仕事や、学会編集の辞典の出版が在任中から持越しとなり、しかもまだ先が見えずイライラ気味だったので、この孫代りはずい分と気分転換になった。

7月頃だったか、ドアを開けて外に出た時、知らぬうちについて来たオスが一緒にパッと飛び出し、あれよと思う間もなく見えなくなった。「失敗した」と「駄目だ」とが一瞬胸に浮かんだが、暫しは茫然だった。2時間ぐらい経つだろうか、薄暗くなって来たので、未練がましく外に出てみたら、何と隣家の2階の屋根にいる。試しに「ピイピイ」といつものように呼んだら、サーと翔んで来て、頭上を2へん回ってからチョンと肩に止まった。これには我ながらびっくりで、広い屋外でも呼んだらやって来るとは、正直のところ思ってもみなかった。

しかしこの一見親密な関係は永続きしなかった。9月に入って、野生の同類と朝早くから鳴き交わすようになるのと前後して人を避け始め、部屋中を縦横無尽に翔び回るが、絶対に近寄らず、掴まえるのに難渋する仕儀と相成った。野鳥の会のメンバーに訊いたら、この鳥は法律で許可された飼鳥ではないとのこと、加えて排泄物で家中に鶏小屋の臭いが立ち込めて来たの

で、自然に還すことに決心した。10月中頃、わざと開けておいた欄間から先づオスが飛び出したが、隣の廊下の引戸が閉めてなかったの、ここから室内に逆戻りして失敗。数日後また同じようにしたら、今度はメスが逸早く飛び出して一目散に視界から消え、オスがその後を追うように軒を掠めて飛び去った。逃げ出す時は婦唱夫随かと思わず口に出たが、その後は2度と姿を見せることはなかった。存外に呆気ない幕切れで、これでよかったと思ながらも、暫くの間はヒヨドリの鳴き声のたびに戸外を見回したものである。

付記：本年6月のクラス会で、大長老(会報8号78期桜井淳氏による)の長谷川輝君から、人畜無害の記事を頼むといわれて、駄文を草した。先輩各位のご活躍が会報で窺われるのは心強い限りである。小生こと48期で2年間、49期で2年間在学したので両期にまたがると自認している次第。

(農学博士・茨城大学名誉教授)

星よやすらかにねむれ

49期 玉木 喜一

星が死んだ——これは私にとってひどく痛かった。

あの殺しても死にそうもない元気男が、私より先にこの世をおさらばする事になるとは、およそ考えても見なかった。もっとも、この少し前に、弟の武典君が私が一応医者である事を考慮して、「胃がんがかなり絶望的である」旨をこっそり耳打ちして呉れていたの、ある程度予期していたとは云

騒音・振動・超低周波

〈計量証明事業登録第507号〉

- 現況調査 ○予測計算 ○防止対策計画
- 消音・防振装置の設計と製作
- 実績 エネルギー・運輸 金属・化学
電子・機械 繊維 機械 紙パ
自動車 造船 食品



東昌エンジニアリング株式会社

〒108 東京都港区港南2-12-26 港南パークビル

電話 03-471-5891 代表

代表取締役 鈴木健生 (第48期)

え、やはりショックである。この秋くらい迄はもつだろうと推定していたのが、こんなに早く別れる事になるなんて——。

同級生が死ぬという事は（特に我々の年齢になると）誠にイヤなものだ。しかし星武夫君の死は、私にとってそれ以上の特別のものだ。今から半世紀の昔、須賀川第一小学校6年2組の中から安積中学に入学したのは、星武夫と私とたった二人だけだった。そんな時代だったのだ。

安中を出てからは、夫々進む方向が異なっただけで暫く会わなかったが、クラス会が持たれる事になると、二人とも割りにマジメに出席したから、ほとんど毎回顔を合わせた。私は星の顔を見ると、あいつも相変わらず元気だな、俺もまアマア異常なしだ。うん、よかった——と何となく安心した。星もきっと同じ様に感じていただろうと思う。

星君の世話で、クラス会を日立電線の寮で催した事があった。その帰途、星は他の2、3の級友と共に私の家に押しかけて呉れた。その頃丁度私の娘が中学校の剣道部に入っていたのだが、それを聞くと星は早速立ち上って、娘の竹刀を手にとり、娘に向かっていろいろと教え始めた。それを見ているうちに私は、彼が昔の安中剣道部の頃と少しも変わっていない事を感じて、涙が出る程嬉しかった。（と書いているうちに本当に涙が出て来た。）娘は今も「元気のいいおじさん」として憶えていると云う。

星が入院して以後は、私は彼に会っていない。会うのがつらかったのだ。一時退院した時期に同じ級友の長谷川

君が彼に会い、「星は驚く程やせていたよ」と私に教えて呉れた。癌末期の患者としては当然だろうが、私は益々困った。友であり医者でもある私は、末期癌の親友に向けて何としゃべったらいいのだろう。迷っている私を見越したように、星はさっさと昇天してしまった。私は死に顔も見えていない。だから、私の眼の奥にある星武夫は、今もあの精悍な体つきで、明朗活発な話し振り、少し年をくった少年の姿のままである。

星よ、俺も何れ近いうちにそっちへ行くさ。ゆっくり休んで待っていて呉れ。（医学博士・大塚クリニック院長）

ある家庭教育

57期 土屋 七郎

「単身赴任」最近随分耳なれた言葉である。以前特に戦前は、親の転勤には、家族全員移住するのが常識であった。そんな常識は今日通用せず、父親が不自由覚悟の上の単身赴任となる。

家庭教育は、家族全員一つ屋根の下で、生活する場から生ずるものであり、父親が、一人遠くに離れては、極めて困難であるし、父親の威厳も説得力も甚だ疑問である。

私が、旧制安中在学中の事であるが、同級の朝倉君の事を今思いだしている。彼が、5年に進級する時に、彼の父親が転勤になった。郡山の小学校長から二本松の小学校長に栄転したのであるが、今なら車か、汽車で通勤するのが常識であると思われるが、彼の家族は、全員二本松に移住し、更にびっ

くりした事には、彼自身安中から安達中学5年に編入学したのである。

今の教育ママなら、さぞ驚くであろう有名校からの転校である。彼は成績もよく後に、安達中学から国立大学に進み、卒業後は高校の教師となって頑張っている。

彼の父親は、小学校長であると同時に教育者である。そこで通俗的な家庭生活より重要な、教育者としての道を選んだ。即ち家族全員二本松に移住する事により生ずる、教育効果を考えたのではないかと思います。

安積中から安達中に、しかも5年間の最後の1年である。わざわざ転校する必要があるのか、甚だ疑問を残す事であるが、彼の父親は、教育者として信ずる道を選んだのである。

家族全員が同じ屋根の下に住み、息子が、その町の中学校に転校するのは、ごく当たり前の事であると信じたものと思われる。その町のその土地に密着した家庭教育を実践した訳であり、そうする事によって、地域社会に於ける教育の効果も上り、説得力があると考えた事と思う。この父親の教育者として、実に立派な態度に敬服するものである。

最近とみに、臨教審とか、いろいろ文部省が、教育のあり方等々について検討している様であるが、効果が上がらず苦慮している。共通一次A Bグループ分け等専門家の名案も実効が余り上がっていない。

受験生は、新しい方法が決まると、その都度振り回され甚だ迷惑である。大学受験のみならず、高校受験に於ても、自分の希望と関係なく、偏差値が幅を



株式会社

渡辺電務社

電気設備設計施工

本社 東京都江東区三好1丁目1番2号
電話 東京(641)0136番(代表) ㊦135
千葉営業所 千葉県千葉市都町2丁目5番1号
電話 千葉(0472) (31)9287番 ㊦280

取締役社長 渡辺豊定(58期)
(旧姓沢村)
取締役副社長 土屋七郎(57期)

きかせ、勝手に志望校を決められる。この様に最近の教育事情は、子供の意志を無視した大人の御都合主義が、横行し甚だ寒心に堪えない。子供の人格・意志を尊重する事は勿論であるが、大人の日常生活態度が大事である。

今後も単身赴任が、いつ迄も続く限り、子供の家庭教育はむづかしい。この様な生活に密着した事が解決されない様では、文部省や、教育の専門家がいくら立派な教育論を展開しても、教育効果は上がらないのではないだろうか？ 昔の教育は実生活に着実に根付いたものが、底流にあった様に思われる。(東洋大学理事)

あえて同期自慢

63期 中城まさお

昭和19年安中入学、昭和25年安高卒業。つまり私たちとその前後2~3年は、安積に6年間通った期です。それも時代としては敗戦をはさんだ目まぐるしい時期でした。でもぼくは、食料不足は別として、みじめな思い出はなく、海軍軍人になろうと必死に勉強した時期も、民主教育に転換して生徒自治会をつくった時期も、受験勉強も、軟式庭球も、学校祭の演劇も、すべて良い青春の一駒でした。ぼくは疎開児で、実際は中学2年からの在籍ですが、親元が郡山ということもあって、以前からなじみではあったし、当時よくあった東京と地元との反目や軋轢は全く経験せず、むしろ両者が良い意味で競い合い、友情を深め合い、その関係は今でも続いています。これは郡山と

いう土地柄の雑居性が良い面で働いたのかもしれないし、先生がたの良いリードのせいかもしれません。現在各界のいろいろなレベルでリーダーシップをとっている人が大勢いますが、これは他の期でも同じでしょうから各個に名前はあげません。

さてぼくは、同期の中では変りだねで、現在も舞台の俳優と演出を続けていますが、正直のところ日本の文化環境、文化行政はあまり良くないし、特に演劇は明治維新以来、市民文化の必需品としての地位を奪われっぱなしです。まあ、ぼくたちの次の世代になったら少しは良くなるだろうと思って頑張っていますが、この困難の中で、かげにひなたに、ぼくのやっていることを応援してくれているのが、今でも同期生であり、同窓生であり、恩師の方々です。この方々の人生についての平衡感覚が「文化」に目をむける余力をもたらしていると言えるでしょう。同期自慢のつもりで書き出しましたが、結局同窓生すべてについての自慢と、上記についてのお礼に盡きます。ぼくも頑張ります。皆さまの一層の御健勝を――。

(劇団新芸術代表・日本演出者協会会員)

オマーン便り

63期 古川 清

中東の砂漠の国にいと、つい時の流れを忘れてしまう。雨が降らないのだから毎日が晴天である。日が昇り、さんさんと輝き、そして暮れ落ちて一日が過ぎて行く。一年中が同じサイク

ルである。季節感が無いから、物事の時期を思いだす時に骨が折れる。「あれは桜の時だった」とか「木枯しの寒い夜だったなあ」などと言う接点が見付からないからである。安積の思い出も開成山の桜とか、校舎の冬の廊下の冷たさとかに連動しているから詩的になるのだろうと思う。

日中の温度が50度近くまで昇るので水道の水もお湯になってしまう。タンクが屋上にある故もあるだろうが、蛇口の水はさわれない程熱くなる。そこで生活の知恵。電気温水器のスイッチをとめてしまうのである。室内にある電気ポイラーは冷房の影響で冷水になり、熱い水道の水を温水器の水で冷やすと言う逆転現象が起きるのである。

いくら熱くても、戸外で汗を流さないと健康が保持できない。室内の冷房でぬくぬくとしていると風邪を引いたり肺炎になったりする。そこで週二回はサンド・ゴルフに出掛けて9ホールをプレイしている(18ホールはとても無理である。汗の脱水症状で倒れてしまう)。フェアウェーではマットが使えるので(石ころだらけでマットを使わなければクラブが壊れてしまう)バックをかつぎマットと大型水筒を持ち重装備の兵隊のいでたちでラウンドするのである。パターを構えると帽子のつばから滝の様に汗が落ちてグリーンならざるブラウン(砂を重油で固めたのがグリーンである)の上に黒色の斑点を作る。オマーンのゴルフ場には、中東では珍しく池が3ヶ所ある。池といっても真水はマラリヤの発生源になるので海水を入れている。どんどん蒸発するので海水を追加するがウオー

索道施設の総合設計施工管理

豊富な経験、最新の技術、万全のアフターサービス



東京索道株式会社

本社・工場/横浜市金沢区鳥浜町12-9

〒236 ☎045 (774) 7111(代)

札幌営業所 〒062 ☎011 (812) 0467

代表取締役社長 横尾 稔(第66期)

- ゴンドラ
- スキーリフト
- ロープウェイ
- ケーブルグレン

ター・ハザードの周辺は塩が岩塩の様に固まっている。ところがおどろいたことに濃塩水になった池にボールが入ると浮くのである。あの重いゴルフボールがである。池に入ると「しまった」と思う半面小舟があればノー・ペナで打てるのになあと思ったりする。

オマーン人の結婚式の披露宴に何回か招かれた。第1日目は女の日、第2日目は男の日と二日掛りの行事である。男の日は全員男だけで、花嫁すらない。したがって客の方ではどんな嫁さんを貰ったのかさっぱり分からない。入口での握手はあるが、部屋に入ると皆黙々と食事をし、スピーチも主催者側の挨拶もない。それに引き換え、女の日の方は音楽が鳴って、客がそれに合せてダンスを踊ったりしてスゴク楽しい雰囲気らしい。女丈となると皆アバヤと称する黒衣を脱ぎ捨てるが、その中の衣裳は金糸銀糸をちりばめ、ダイヤ、サファイヤ、金のアクセサリと相まって、大変綺麗なものらしい。男の日には花嫁は全く顔を出さないのに、女の日には花婿が挨拶に短時間訪れると言うのだから不平等である。(駐オマーン大使)



ホスピタリティ・デザイン

(C I 計画をお考えの経営者に)

64期 石川 照雄

スイスで遊びました。

スイスを『タビ』しました。

そこで、ホスピタリティ豊かなピクトグラフやアイソタイプに、数多く出あいました。

トウキョウで、グラフィックデザインやアドヴァタイジングデザインの仕事をしているカッコいいはずのボクは、スイスでは名もしらぬ「旅人」です。不安でした。臆病でした。

ひとり旅の旅びとに共通の「アレ」なのです。

サンモリッツ。エンガディン地方のガルダとタラスプ。さらにダボス。ザンクトガレン、アッペンツェル。

シャッフハウゼン。フリブルとグリュイエール、ビュール地方。

そして、ジュネーブ、ベルン、チューリッヒなどの都市。

スイスには、ドイツ語圏、フランス語圏、イタリア語圏、ロマンシュ語圏があり、それぞれの言葉が使われています。そして英語も通じます。ボクは日本語しか使えません。

でも、強く深い「おもてなし」を感じ、味わい、十分に満足した『タビ』でした。

不安が去り、ゲンキが湧いたのはなぜだったのでしょうか。

*

昔。

そうです。中世のころのヨーロッパは「巡礼の時代」といわれていて、人

びとは聖地や聖書を求めて、しげく「タビ」をしたのです。

また、ギルドの職人たちも、修業とトラバユのため、各地を、多く「タビ」しました。

当時の人びとは、ほとんど文盲であったはずですが。かりに文字が読めたとしても『共通の言語』を持たない人たちはいまのボクのように、かなり不安だったに違いありません。

交通機関のとほしい時代に、文字通り、山を越え谷を渡り、太陽のあるあいに宿泊所や飲食処を探さねばなりません。

菩提樹の繁る広場のある集落に、これらの商業施設がありました。そして、あるシンボルで表記されていました。

壁面に「絵」や、「パターン」や「サイン」が、平面的にとりつけられていたのです。それらは、命をかけて旅している人たちに対する思いやりのある「おもてなし」の表示だったのです。

「温かいお湯が用意してあります」「清潔な寝床の寝床いかがですか」と。

やがて、街道や広場からもよく見えるように、壁からつきでた横木に吊るようになりまし。いわゆる「袖看板」のはじまりです。

ヨーロッパでは中世のころには、まだ、土地の「地番」も「通り」の名もありませんでしたので、このサインボードは道しるべとしても重要な役割を果たしたのです。通りの名称や家屋番号が一般的になったのは十八世紀の終わりごろといわれています。

このように、ピクトグラムやシンボルやサインは、『タビ』の案内だけでなく「生命」を守るためのものでもあつ

劇団新芸術代表

中城まさお君を応援しよう

63期 大津 隆



劇場で演出中の中城まさお

安高出身で東大法学部を卒業した彼は、その肩書を捨て、演劇界にはいり、良い作品を創り、新聞等でその都度大きく報道され、私たちもそれらの作品を楽しませてもらっています。しかし今の日本では演劇活動は楽ではないようです。桑野会で彼を応援している方も数多くおられますが、さらに強力な応援をお願い申し上げます。フレ、フレ！中城！（劇団新芸術 〒150 渋谷区神泉町15-17 電話 03-476-5650）

たのです。

後年。一九二〇年にオーストリアのノイラートさんが「ISOTYPE (International System of Typographic Picture Education)」として、「概念の直感的把握を促進することを目的」とした視覚教育用の絵文字を、また、ブリックスさんによって国際的絵ことば「SEMANTO GRAPHY」が発表されました。CORPORATED IDENTITYの仕事に夢中になっているボクにとって、「視覚言語」の原点をスイスの土地に見いだしたとき、世界共通の絵ことばの親切に涙もろく感じたのは、ひとり旅のセンチメンタル・ジャーニーではありませんでした。

スイスの旅では、SIGNとともにVIEWにも興味をもちました。

単なる「ナガメ」として景観だけでなく、「景観」のなかにある、ひとつの節操をもった部分をーです。

「ナガメ」という大きなサインのなかに、山があり湖があり高原があつて、集落がありました。そこには、ホテルがあり、レストランがあり、スーパーマーケットがあり、家屋があります。ボクの『タビ』のなかで、それらの施設といった小さな「ナガメ」が、大きな「ナガメ」の一部に同化しているという驚きの発見がありました。

誤解をおそれず一方的にいえば、それらの施設もまた視覚言語なのです。

といって、ヤマナカ・キヨサト・マダラオ的に『景観』を売り渡そうとしているわけではありません。すなわち、あたりまえに「ナガメ」をホスピタリティとして、旅の途中に見せた、または旅に馴れさせる動機をもたせた、コ

トバを超えたビジュアル・コミュニケーションとしての、土地のフィロソフィなのかもしれません。

(株東京クリエイティブセンター代表)

「ワルシャワ雑感」 中曽根総理公式訪問に随行して

71期 佐藤 栄佐久

日本人は、民主化と自由化のみが、平和と安定を実現する術だと信じこんでいる。85年4月、ジャマイカで開かれた「国際青年会議」に日本代表団団長として出席した私も、ポーランド自主管理労組「連帯」の、それもパリで活躍している若い女性メンバーの演説に胸を熱くし、ポーランドの自由と民主化を切に願った一人だった。

しかしこの度総理の公式訪問に随行し短時間の滞在であったが、実際ポーランドという国を訪れ見聞してみると、現実はそのなかに単純ではなかった。

長い間侵略の餌食になっていたという歴史的な背景。

北はバルト海、西は東ドイツ、東はソ連、南はチェコに接しているという地勢を十分認識した上で、つまりポーランドという国の内側に自分を置いて考えてみると、自由民主主義に対する私の信念は変わらないものの、自由あるいは民主化が制約を受けざるを得ない。やむを得ない現実をとことんまで見せつけられた。

「連帯」「ワレサ議長」の名は我が国で広く知られているが、あれだけの運動の発端は、肉の価格の高騰に対する抗議にすぎなかった。それが民主化要

求の大きな潮流になってしまったのだ。政府は1年後には戒厳令を敷き鎮静化したが、この事は政府・国民が、自由や民主化よりも「国の独立」を守る立場を貫いたと見ることもできる。

当時国際世論も「連帯」に味方していたし、政府は厳しい選択を迫られた。ところが、自由化・民主化に向って動いたハンガリー、チェコ、アフガニスタンなど他国干渉の例もあるし、その轍を踏む訳にはいかなかったのだ。ポーランドとの地勢や歴史的背景、今日てき状況を知りぬいている国民は、だから感情に流される事なく、冷静にしたたかに、ヤルゼルスキー軍事政権を支持し、自主的に「連帯」の活動を抑えてしまったのではないか。

東西の狭間にあるこの国の苦労は、自由と平和を謳歌する私たち日本人には、なかなか理解できない。だが、そのギャップを超え、それぞれの現実を見据えながら、平和な国際社会を実現するために、私は全力を尽して参りた。 (参議院議員)

洗面台の鏡

72期 遠藤征志郎

私は昭和34年卒業、安積72期の遠藤でございます。現在府中市にて、府中運送株式会社の代表取締役を勤めて居ります。主に地域の仕事を中心に行って居り、従業員70余名の多摩地域では、中堅処の運送会社でございます。

10年前頃より業界や、団体等で端役をやらされる様に成り、己の立場、社会の中での地位を考える様になりました

有利さで選ぶなら

中期国債ファンド

1 カ月複利の効果で
いつでも一番有利



借成証券

本社 東京都中央区日本橋兜町13-2
☎ (666) 1431 (大代表)

取締役企画部長 近内靖夫 (第69期)

た。自分の受けた役職は、相手(業界、団体)が、私に何を求めているか、或いは、何をさせようとしているのか、と、いつも相手の事を考え、相手の立場に立って、職務を遂行する様に努力して居ります。

その頃より私は、自分の指標を洗面台の鏡に置いて居ります。毎朝の洗顔の時、洗面台の鏡に自分の顔が、平らに写ってみれるかどうか、又大きく写っていないか、小さすぎないかと、己の顔を見直します。そして、昨日の行動態度、或いは会議、酒宴の場での言動等を振り返って見る事にしています。私は、自分自身をいかに平な鏡で冷静に見れるかが、人生において大切な事だと考えて居ります。凹面鏡で己を大きく見誤ったり、或いは凸面鏡で過小評価で見ることがあると思えます。己の評価は己がするものでなく、他人様の評価値が公平だと、常々肝に命じております。

私は、高校卒業後親父の使い走をして1年実家で手伝い、昭和35年2月上京し、37年1月に独立し、45年6月に現在の府中運送株式会社を設立現在に至って居りますが、その間決して平穩無事ではなく、48年2千万円、49年1億3千万円と、他人に利用され私に取っては、大変高価な授業料を払わされました。例の石油危機とも重なり苦しい経営を余儀なくされた事は言うまでもありません。実家や親戚に相談しても相談になる金額ではなく、結局は、自分で整理をする以外に方法がありませんでした。それまでは親しく付合っていたと、自分が思っていた友人も、10人中8人が私から去って行きまし

た。その時に自分なりに反省をし、諸々の角度から考えてみましたら、周囲から社長々と煽てられ、或いは、若いのに遣手だなどと言われ、すっかりその気に成っている自分に気が付きました。それ迄の私は、凹面鏡で過大評価をしていたのです。己の実力とは程遠い虚像が出来上がっていた訳です。

その時点では他人には言えない苦しさ、悔しさがありませんでしたが今になって振り返って見ますと、私にはその様な経験をする機会があったから現在があると、社会に感謝して居ります。その時去って行った友人も帰って来ましたし、それ以上多くの友人、同志を得る事が出来ました。それ以来私は、自分自身を平な鏡で見れて、決して驕らない様に、己の心の中にいつも平面鏡を忍ばせて居ります。

今年は独立25年になり一つの節目として社屋を建替え、多くの友人、同志にお集まり戴き、記念式典も致しました。(府中運送代表取締役)

子供の歯と咬む力

74期 伊豆 秀雄

久し振りに会った安積の友人から「自分の息子は、今度、中学生になるのだが、小さい頃から半年に一度、近所の歯科医院で健診を受け、フッ化物を塗布してもらい、今までに一本の齲歯もない。」と、歯科医の私に語ってくれました。

子供の齲歯が皆無であることは、実に慶ばしいことです。

そこまで口腔の健康管理が行き届い

てるのに感心し、親の予防に対する感心の高さと、子供の心がけの良さを想いました。

齲歯は、3つの主要因子、すなわち宿主(特に唾液と歯)、細菌叢および基質(食餌)が相互に作用している疾患であり、さらに「時間」という第4の因子も考慮すべき多因子性疾患といわれています。

つまり、齲歯の成立には、宿主の感受性、齲蝕原性細菌叢、適当な食餌および十分な時間が必要であります。ですから、逆に齲歯の予防は、

- 1) 宿主の抵抗性を増強(フッ素療法、レーザー、免疫)し、
- 2) 歯面に付着する細菌数を減少(ブラークコントロール)させ、
- 3) 非齲蝕誘発食を選んで食餌を改善し、
- 4) 食事の摂取頻度を制限して、口腔内に食物が残留する時間を減少させることに基礎を置いています。

以上の条件を満たせば、齲歯は予防できるわけです。

ところで、歯科医師会の依頼により都内の保健所で行われている「3歳児歯科健康診査」に、何度か参加して得た実感ですが、小児の齲歯は、近年減少してきたことです。

代りに最近問題になってますのは、「咬めない子供」が増えてきたことです。

生まれて最初の行動である哺乳行動、これは反射運動を繰り返し、次第に上手になります。この時の舌や顎の使い方が、その後の咀嚼の基礎になります。咀嚼は離乳期に離乳食を体験し、一步一步練習して初めて体得され

北関東をネットワークする業務用無線機と、
オフィスコンピュータの専門店



業務用無線機がリース料わずか3,600円!
オフィスコンピュータがリース料わずか30,000円!

(株) 山口電機

山口雄機 74期

本社 宇都宮営業所 宇都宮市宮の内2-184-18 (0286) 55-1600(代)
水戸営業所 水戸市中河内町67-1 (0292) 27-2205(代)
大宮営業所 大宮市三橋1丁目815 (0486) 63-4273(代)

る能力です。離乳の開始が著しく遅れたり、進め方が不適切な場合は、咀嚼能力が身につかなくなります。離乳期を過ぎると練習の効果は上がりにくくなり、3～4歳になっても咬めない子になってしまいます。

食欲は、生存のための栄養補給の欲求だけではなく、咬むことによって食物を味わい、咬みごたえを知り、生きる楽しみを味わわせてくれています。咬むことによって歯に伝わる「咬む力」が、脳細胞を絶えず刺激し、活性化しています。咬むことの手下手な子供は、発音がうまくできないこともあります。

最近はやさしい食物も多く、それでも栄養だけはどれるので、丸のみする子供の増加の一因となっています。

咀嚼能力は、5ヶ月～12ヶ月で身につく、1歳半～2歳の間に完成します。心がけたいことは、無理じいせずゆったりとした気持ちで与えることです。(日本大学講師・歯科医師)

財テク!!

78期 宗像 良保

「Money JAPAN」という雑誌を創刊し、編集を担当することになってから2年あまりになります。

60年5月の創刊当時は「マネー」などという言葉が果たして日本人に受け入れられるだろうか、大いに心配したのですが、結果は大成功で、その年のヒット商品の上位にランクされるは、暮れにはNHKの「今年の重大ニュース」の取材は受けるはで、「マ

ネーブーム」「財テクブーム」の火付け役を演じた形になりました。

でも、けて「マネーブーム」を演出してやろうとか、「貯蓄革命」「金融革命」を起こしてやろうなどという大それた動機で始めたものではなく、そもそもは、アメリカに、タイム社が発行している「Money」という雑誌があり、180万部も出ていて大変好調なので日本でもやれないか、というのが創刊の動機で、大変ラッキーなことにそれを担当できた、ということなのですが、しかし、当初は大弱りでした。

なにしろ、編集スタッフが全員お金とは縁がうすく、お金の貯め方、殖やし方といったことをよく知らなかったからです。

そこでどうしたか。

読者の声を素直に編集に生かすことにしたわけですね。なにしろ編集部にお金に詳しいのはいないのだし、一方、編集部には毎月4000から5000通の手紙やハガキが来るからです。発売1週間くらいは、仕事にならないくらい電話がかかってくる。こんなに反響のある雑誌を私は知りません。これを活用しない手はない、と考えたわけですね。

ところが読者の期待にとことん応えるということは大変なことなのです。勝手なことを言ってきますからね。

例えば、「株式投資で失敗せずに、儲ける方法が知りたい」といつてくる。そりゃ、私もそう思いますよ。そこを、株式投資のベテランなら「そんなこと無理」とまともには取り上げないのですが、うちはそれがどれほど大変

なことなのかを知らないものだから、マジにやっちゃった。

株式投資について書かれた本を何十冊も読んだり、実際に株を売買したり、町の株名人を訪ねたり、大証券の株式部長にインタビューしたり、機関投資家のファンドマネジャーに取材したり、新しい投資方法があるときけば、どこでも出掛けていきました。

こりゃ大変なことになっちゃったなと途中で気がつくのですが、でもこんなことをやっている、面白いんですね、これが。

それから「生命保険には幾らくらい入ってればよいか」という質問もありました。この問いには、おそらくわが国初のリスク計算システムというのを考案しました。生命保険は一家の大黒柱に万一のことがあった場合に、残された家族の生活をサポートするためのものです。持ち家で、子供もいず、夫婦共働きで、両親とも健在でお金持ち。こんな夫婦は、万一の場合の経済的リスクがゼロですから、生命保険に加入する必要なし。反対に、住宅ローンをかかえ、子供が小さく、奥さんは働きに出れず、両親の面倒も見なければならず、といった場合のリスク度は高くなります。その保障を最少の保険料で賄うための生命保険の選び方。それを特集したのです。

こんなふうには、読者の難しい要求にマジに毎回応えようとしていますので、けっこう疲れますね。

でもそれだけに部数は順調に伸びて、年末には80万部、来年は100万部を目指すことになりそうです。

書店で目に止まったら一度読んでみ

お金と楽しくつき合う情報誌——マネー ジャパン

Money JAPAN

編集 宗像良保

編集 プレジアント社 発行 西武タイム

〒100 東京都千代田区大手町2-3-6 タイムライブビル13階
TEL 03(279)3408 FAX 03(279)3710

てください。

(Money JAPAN編集長)

消防雑学三題

78期 椎野靖啓

東京では、毎日20件前後の火災と救急事故が850件発生しており、火災については年間7000件にもなり、救急に至っては30万件を突破する勢いである。

そこで勤務先に関連する話を二三拾って見ると、以外に勤務していても気がついていないこともあり質問が多い内容は、「消防自動車はどうして赤いのですか?……」。これにはまいりました。赤いのはあたり前と普段から疑問すら感じていなかったことで回答にとまどった経験もあります。さっそく、資料室にて調査したところ、ありました、ありました、答えはこうです。『道路運送車両の保安基準』という運輸省令(昭和26年7月28日 第67号)で決められているからです。その第49条第2項には、緊急自動車の車体の塗色は、消防自動車にあつては朱色とし、その他の緊急自動車にあつては白色とする。……と定められています。一般に消防自動車は赤と言われていますが、法規上は朱色なのです。

消防自動車が赤とされた理由は定かではありませんが、外国から輸入した蒸気ポンプや消防車が赤であったことから、わが国のそれも赤色としたというのが一般的な理由のようです。それに赤色は注意をひく色であること、炎の赤を連想させ警火心を起こさせるな

ども理由の一つに数えられている。

次に「救急自動車はなぜ白い?……」これは前述のとおり、その他の緊急自動車に分類されますので白色が正解で輸血運搬車等も同様の理由からであります。もう一つ東京の救急車を見ると赤いラインが一線入っていますが、この赤線は、昭和11年1月20日に東京の救急業務開始当時からあったもので、日本赤十字社の自動車と区別する意味からの説と、消防部が行うものであるから消防車の赤を入れた説などがあります。次に救急車のピーポサイレンですが、これは以外と歴史が浅く、昭和45年6月から登場したもので、理由は救急出場件数が火災件数の40倍余にも達しており、同一音を発するサイレンではまぎらわしいこと、傷病者を搬送するためソフトな音色が望まれたことなどです。次に「火の用心」の例の言葉ですがこれは以外と古く今から約400年前のちょうど秀吉と家康が勢力を争っている時代で、小牧・長久手の戦いというのがあり、その戦いの時に家康方の武将で本多作左衛門という人物がおり、小牧山から江戸の留守宅に宛てた手紙がそれで「一筆啓上火の用心、おせん泣かすな馬肥やせ」これが歴史上「火の用心」を使用した最初とされています。

調べて見ると本当に面白い事にぶち当たることもあります。また機会がありましたら御紹介申し上げます。

(東京消防庁)

「お世話になっています」

79期 大竹 英雄

「総会に3回出席した事が理由」とのことで突然幹事を拝命し、微力ながら会報編集のお手伝いをさせていただくようになってから5年程になるが、澤田会長の許で百周年を迎え、有能な若手の方々も続々会の運営に参加され、会報も9号を発刊し、東京桑野会の基礎も強固なものになったことは大いなる喜びである。

この間私は多くの先輩方に一方ならぬお世話になった。4年前の入院生活でほぼ決りかけていた専任教員の口を棒に降った私の就職問題は、その後多くの先輩方から御心労、御助成を賜わったが、結局昨年、厚木市のソニー学園湘北短期大学の商経学科増設に伴い、商品やその品質のあるべき姿、商品売買成立の要因、商品開発などをその研究内容とする「商品学」の教員として勤務するに至り解決した。

そして今度は、教え子の就職先開拓のために再び先輩方のお世話になっている。興亜火災海上保険前会長の赤城先輩(43期)、東昌エンジニアリング社長の鈴木先輩(48期)、五十嵐冷蔵専務の吉田先輩(52期)、椿山荘支配人の竹花先輩(55期)、世紀東急工業取締役の込山先輩(59, 60期)、ニチバン取締役の宗像先輩(65期)、その他沢山の方々に無理矢理お願いしてお力添えを頂戴した。また偕成証券取締役の近内先輩(69期)には学生の就職活動の準備のために、わざわざ厚木までおいで頂き

株式会社 ニュービジネス

- 医療用機器及び機材
- 放送機材
- 電子部品、その他

本社 東京都新宿区四谷3-1-5 ロリエビル3階
TEL 代03-353-4201 FAX 03-353-4206
福島営業所 福島県郡山市堂前5-19 観音ビル
TEL 0249-22-6907

代表取締役副社長
小針弥三(78期)

「証券業の業務と景気動向」というテーマで御講演賜わった。この会報が発送される頃、学生達は就職試験の最中であり、何とか一人でも多く、希望どおりに、お役に立てる場が与えられることを願うものである。

それにつけても、何と安積の先輩方の頼もしいことか！唯、唯、感謝あるのみである。しかし考えてみると、我々若い連中が先輩方と普段お話をする機会は（総会の場合においても）なかなか無いようである。本会報の特集にもある世代を越えた縦の交流が活発になってこそ、桑野会は更に飛躍発展し心の礎となることができるだろうと思う。ゴムはそのままでは夏にはベトつき冬には硬化する不安定な物質であるがC. Good Yearは硫黄をゴム分子間の架橋に利用し安定させることを発見し、以来様々な分野に使用される重要な原材料となった。東京桑野会も会員相互の有機的な結合を図らんと努力しておりますが、私も少しなりともこの硫黄の様なお役に立てればと考えております。先輩の皆様有難うございました。

（追記……事あるごとに看にされる79期最後の生きた化石“lonley boy”は、またまた御面倒をお掛けしそうですあります……。）

（湘北短期大学 商経学科 講師）

「バイオ」の原点

82期 円谷陽一

生化学（バイオケミストリー）は生命現象を化学的手法を用いて解析する

学問領域であり、ここ数十年急速に発展して来ました。昨今流行語となった感のあるバイオテクノロジーの原点であると言えます。埼玉大学の生化学科は23年前に設置され、私は勤務して6年が経、糖代謝を主な研究テーマとして来しました。その間一年間ニューヨーク市の医科大学に留学する機会を得、合衆国と日本の大学の研究体系、方法の違いについて考えさせられました。もとより短期間、特定機関での見方であり独断、偏見が含まれているとは思いますが自分なりに帰国後の研究の進め方に役立てようとしています。

留学先の研究室の第一印象は設備が貧弱なことでした。もちろん分析機器等高価な設備が豊富な研究室が数多くあり、共同利用施設が充実していることが後に判かりましたが当方の勤務する大学は誰かが雑誌に書いていた“E”大学、そのもので日頃研究費の不足を嘆いていた身には基礎科学先進国の研究室の機器の貧弱さ（不足している訳ではないが）は驚きでした。帰国後、私だけでなく合衆国へ留学経験のある何人かの若手研究者も同様な印象を受けたことを知り、運用方法の違いも考えられましたが地方大学と言われている日本の研究室も施設の面では充実して来ていると認識を改めました。分野によって異なるとは思いますが、基礎科学の遅れを研究費の不足として言逃れる訳にはいなくなって来ていると思っています。私を指導してくれた教授は糖代謝の分野で最先端の研究成果を挙げており、研究を進めるに連れて教授の長年に渡る成果の蓄積、貴重な財産となっている市販されていない実

験試薬、それと何にもまして研究アイデアの卓抜さ、信念が研究を進展させる基礎となっていると理解しました。合衆国の研究基礎の厚みを身近に感じ取れました。研究者によって基本的な研究方法は異なりますが極く常識的な結論ですが不断の努力によって培われる有形無形の蓄積、その上に立ったアイデアが研究を進展させるのに重要だと現在思っています。研究制度については断片的な情報が得られただけで日本の大学同様各大学間で異なる点があると思われまます。一般的には各研究者が独立して研究室を構え、各自の申請で研究費を獲得する制度です。研究費配分は主に研究成果（論文）で判断されるので研究成果を挙げるために努力するのは当然であると納得しました。最近、新聞等で日本の大学の教育、研究の活性化に関し政策立案側の立場から提言がなされているのが目につきます。現在の日本の大学制度には優れた面もあり欧米の真似でない制度改革、大学内部からの真剣な検討が必要と感じる此の頃です。

（埼玉大学理学部 助手）

「アパレル産業とは」

82期 古川 清志

「質実剛健」 男臭さのブンブンするような我学舎、安積高校を卒業し上京してはや20年近くになります。

私は現在、日本のいや今では、世界のファッションの中心地である渋谷区でアパレル（婦人服製造卸業）を営んでおります。アパレル産業は、常に女

ご宴会、ご会合、おくつろぎやお待ち合わせに…



RESTAURANT PUB

Windsor

小田急南林間駅前 横浜銀行地階
和南市南林間2-11-19 TEL 0462-74-8001

81期 鈴木 信治

性中心の社会で、女性の考え方、趣味嗜好流行等を考え、女性雑誌に目を通し、世の中のファッションの流れを敏感にとらえ、いかにしたら女性がキレイに見えるか、女性に好まれる服が作れるかなどを考えてる毎日です。

そのような毎日の仕事の中で、東京桑野総会に出席した折、安積時代の男だけの世界、バンカラ、ポロポロの学生帽、汗で光る学生服、それらが、オシャレだと思っていたあの3年間で懐かしく想われます。

安積卒業の諸先輩方は、弁護士、税理士、医師など堅い御職業の方が多く、「質実剛健」の校風が生きているように思われます。そのような中であって、私共の様な仕事は、安積児の職業としては異色かも知れません。

梅雨があげると暑い夏でした。しかしファッション業界は、もう冬の商品が主体です。社内では冷房をガンガンきかせて、厚いウールの生地を前に汗だらけになりながら、冬の流行のデザイン、色などを検討しています。このように、常に半年も前の季節のデザインを考えながら仕事をしていきますので、季節を感じている暇もありません。又仕事の時間もルーズで夜遅く迄なる事もしばしばです。そして市場調査の名のもとに、渋谷、赤坂、六本木等の繁華街を夜遅くまで飲み歩く非常に不健康な毎日を過しております。しかし自分自身の好きな仕事に打ち込み、常に新しい事にチャレンジし、若い人たちと付き合い、話し合いながら仕事をして行く事が年も取らばに、健康に生きて行ける秘訣だと信じています。

(モード・エ・カミュ・代表)

事務局だより

- …年齢を超え、卒業の期を超え、職場を超えて、ある分野やあるテーマ毎に『同好の会』が、この東京桑野会の中に生まれたらー。こんな提案がいくつか寄せられています。
- …新幹事長、土屋七郎さん(57期)からは『桑門職域懇談会』の設立提案がありました。それぞれの分野、業界における活躍、発展を計るため積極的な情報交換をしようというのが趣旨。例えば『製造・販売業』や『運輸・交通』『芸術・出版』『医・法』等々です。
- …『けんちくの会』(仮称)もそんな中の一つ。建築物を造ったり、発注をしたり、あれこれ議論したりと、建築が好きな同志に興味あるテーマについて懇談し、あるいは話題の建物の見学会を実施するなどを考えているそうです。
- …ほかにも『囲碁』『ゴルフ』などの趣味の会の呼びかけも少なくありません。
- …いかがでしょうか。ご意見をお聞かせ願えれば幸いです。水口禎(67期)まで、よろしく願いいたします。
- …会報の発送、事務連絡などをボランティア精神で引き受けてくださっているのは星武典事務局長の事務所の岡本啓子さんです。東京桑野会を支える最大の功労者です。この欄を借りて感謝申し上げます。その岡本さんから一言。「せつかくの会報も戻って来ます。住所変更の際はぜひご連絡を！」

編集後記

■会報の9号をお届けいたします。会員の皆様から多くの期にわたり、また幅広い分野、地域にわたる寄稿に感謝します。

■「安積 あの時」座談会では25期の後藤大先輩からは大変興味ある秘話を聞くことができました。

この座談会は広報部の丹治さんの発案と骨折りで実現できました。

■会報第8号に「古稀を迎えて」を寄稿され、4月の総会にも元気な姿を見せられた本会幹事47期の横尾正七郎さんが突然亡くなられました。後輩の会員への生き方の指針を残して逝かれました。再読しつつご冥福をお祈りします。

■戦前の東京桑野寮の再建を最後まで夢見て、その実現を説いておられた本会顧問49期の星武夫さんが亡くなられました。同期の玉木さんからは追悼の記をお寄せ頂きました。ご冥福をお祈りします。

■母校便り、会員の動向等の記事を今後も出来るだけ充実して行きたいと思っておりますので、会員の皆様からの情報の提供をお願いいたします。

■ベルシャ湾の入口、波高きホルムズ海峡のオマーンから63期のH.E.古川大使からは砂漠の国の興味深いオマーン便を頂きました。

縁があつてルクセンブルグ大公国の皇太子殿下に拝謁する機会があり、H.R.H.(His Royal Highness)とかH.E.(His Excellency)とか普段縁のない言葉に接しました。(水口)

営業品目

- 産業廃棄物の処理
- 一般廃棄物の処理
- 産業廃棄物の加工

市原不燃物処理株式会社

〒290 千葉県市原市五井2887 TEL 0436-21-6308

代表取締役鎌田正二(第43期)